

おおの 大野 和政 議員
かずまさ

今後の町政運営について

町長が3期目の町政を担われ、3年7カ月が過ぎようとしている。

町長は、まちづくりの基本理念として、公正で清潔な行政を基本に刻々と変化する今日の社会情勢に的確に対応して、時代を担う子どもたちに明るい未来を約束し、すべての町民が安心して生活できる環境づくりを、町民の皆さんと行政のパートナーシップによる協働のまちづくりを目指し、5つの大きな政策目標を掲げて、町政執行に当たられた。

町長の3期目は、より一層厳しさを増した財政状況の中、健全で安定した行財政運営を進められた。

また、協働のまちづくりの推進事業では、地域と行政が共に住みよいまちづくり、地域づくりを進めることができるようになったことは、多くの町民も高く評価している。

そこで、現時点での3期目の町政を執行された総括的な評価、所見を伺う。また、来期においても、引き続き町政を担う気持ちがお在りなのか、併せて所信を伺う。

町長 私が3期目の町長に就いた当時は、経済の停滞や雇用情勢の悪化、危機的な地方財政など、地方を取り巻く状況は大変に厳しいものであったが、住んでいることを誇りに思える幕別町を目指し、大きく五つの基本政策を掲げ、町民の皆さんへの公約とした。

①自然とともに生きる環境にやさしいまちづくり。(生活環境)

②農業を核に競争力のある産業の

まちづくり。(産業)

③笑顔ゆきかう健康とやすらぎのあるまちづくり。(福祉・保健・衛生)

④文化の香る心豊かな学びのまちづくり。(教育・文化・スポーツ)

⑤ともに考えともに創る活力あるまちづくり。(コミュニティ・交流・行財政運営)

私は、これまでの取り組みを通じて、公約は、おおむね達成できた

ものと考えているが、地域経済の活性化、子育て支援や福祉の充実などによる安心して暮らせる地域づくりなど、残された課題もある。来期に向け、町政を担う考えはあるかについては、先日、私の連合後援会から4期目出馬の要請をいただいた。大変にありがたく、身に余る光栄であると存じている。

今、地方自治体は、国による制度改正や長らく続く経済の停滞など、大きな転換期を迎え、将来を見据えた新たな挑戦が求められている。こうした中、将来にわたって持続可能な地域づくりを進めるためには、地域経済の活性化、地域福祉の基盤強化、人づくりやコンパクトで機動性の高い地方自治体制の充実といった面で、いまだ多くの課題も残されている。

これまでいただいた町民の皆さんからの評価を真摯に受けとめ、皆さんとこれまで以上に力を合わせて、新しく、たく



議場で答弁する岡田町長

ましい幕別町づくりに向けた取り組みを推し進めていくことが求められていると考えている。

私は、多くの町民の皆さん、町議会の皆さんの支持をいただけるものであれば、「この町に住み続けたい」「幕別町に住んでみたい」と思われるような、そんな幕別町を目指して、いま一度町民の皆さん方の先頭に立って心血を注いでまいりる決意であります。